

一宮市都市計画に関する基本的な方針（素案）への意見に対する市の考え方

番号	意見（概要）	市の考え方
1	<p>今の一宮市の街並みを見る限り、古くから栄えていた真清田神社の門前町の吸引力、ガチャマン景気による民間による無秩序な開発、名古屋～岐阜間の立地、さらには東京～大阪間の立地による県や国による事業がたまたま一宮市を通過しただけの様に感じる。</p> <p>東海道線、名鉄鉄道敷設、名岐バイパスの整備、また、名古屋高速の整備に合わせ、道路の拡幅、街区の見直しや、区画整理などの開発を実施してこなかったことが原因で、街の機能不全を起こし、新たな投資が起こり難い街並みになったと思う。</p> <p>結果、空き家など地域が歯抜け状態になっていると感じる。</p>	<p>本市は、1921年（大正10年）に市制施行して以降、3度の市町村合併を経て、現在の市域形成に至っております。現在も合併前の区域毎にコミュニティが形成されている現状を踏まえ、本計画では将来都市像を多拠点ネットワーク型都市の構築と設定し、各拠点の形成とこれらを公共交通などでネットワーク化し連携することにより、持続可能な都市形態を目指すこととしております。</p>
2	<p>何が課題とあってどういう姿にしたいかが分からない。課題が無いから優先順位が見えないし、本気度も分からない。記載してあることを全部やり切ったら、人も予算も時間も足りないと思う。もっと課題にフォーカスして（焦点をあわせて）マイルストーン（中間目標）を置いた姿を示してほしい。</p> <p>あと、人口減少と高齢化が分かっているなかで、サステナブル（持続可能）な運営に向けて取捨選択が必要になると思うが、そこについての方針は全く無いように見える。民間委託を増やすだけでは方法論として限界があるのでは。そういう負の側面の事実を可視化してほしい。</p>	<p>本計画では将来都市像において、本市の歴史や現在の暮らしに対応した拠点の形成を図り、これらを公共交通などでネットワーク化し連携する、多拠点ネットワーク型都市の実現による持続的発展を目指すとしております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
3	<p>P48</p> <p>「2-1 都市機能の集積」という言葉に捉われすぎているのではないか。「高密度な」中心市街地は必ずしも良いとは限らない。</p> <p>一宮市役所の立体駐車場は使いにくい。（春日井市役所は平面駐車場で使いやすかった）</p> <p>久屋大通などは高密度とは真逆の発想であるが、評判は良いと思う。</p> <p>そういう事例を取り入れてほしい。</p>	<p>将来的な人口減少による人口密度の低下や、高齢化の進展により、商業や医療、福祉、子育て、公共交通などの日常生活サービス施設の維持・提供が困難になるおそれがあることや、インフラの維持・更新に係るコストが大きな負担になることが懸念されます。こうしたことから、都市機能の集積を図ることで、持続可能なまちづくりを目指しております。</p>

番号	意見（概要）	市の考え方
4	<p>尾張一宮パーキングエリアの周辺整備について</p> <p>尾張一宮パーキングエリアへのスマートインターチェンジなど開発に関し、「日本の大動脈を支える物流拠点を目指す」など、インパクトのある言葉を使ってはどうか。役所はPRが地味なのでマーケティングで都市を売り込むのはどうか。</p> <p>また、日本の物流拠点を軸に、一大産業エリアをつくることも検討してはどうか。例えば物流に不可欠なドライバー専用ホテル、女性ドライバー専用施設、店舗、貨物用パレット、車両修理・整備拠点など。経済波及効果は大きくなる。</p> <p>また、繊維・ファッション・物流を一大拠点にした開発も視野に入れてはどうか。上記エリア開発を計画的に進めるために、市の土地開発公社を活用し、エリアに網をかけて、土地の先行取得をして、計画的に、開発後の売却、賃貸などを行うことを検討してはどうか。</p>	<p>尾張一宮パーキングエリア周辺におきましては、物流に限定せず、上位計画である第7次一宮市総合計画の基本構想「Management1人を呼び込む」や、第2期一宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標3 魅力「一宮らしさをアピールし、ひとが集まる魅力あるまち」をつくる、に即した方針として、産業や交流機能の立地誘導を図るまちづくりを進めていきたいと考えております。</p> <p>今回いただきました具体の施策につきましては、ご意見として賜り、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
5	<p>第2章 4項～5項について</p> <p>物流の効率化を図る目的が強調されているが、市街化調整区域は有名無実化しているような気がする。農用地の無秩序な宅地化による周辺農用地の劣化を速め、耕作者の農業に対する意欲を削いでいるのではないか。無秩序な開発の抑制を希望する。</p> <p>尾張一宮パーキングエリア周辺にスマートインターチェンジを設置した場合、交通量の増大に伴う道路整備・騒音・振動などの環境対策が見当たらない。</p> <p>周辺住民の意見も踏まえた上での計画を求める。</p>	<p>農用地につきましては、積極的な維持・保全を図り、無秩序な開発の抑制を図る方針としておりますが、産業構造の変化により、新たに産業系市街地が必要となるため、インターチェンジ周辺などの既存ストックを活用できる場所においては、産業拠点と位置づけし、地域の振興に資する施設などの充実・集積を図る方針としております。</p> <p>スマートインターチェンジの設置につきましては、いただいたご意見を参考に関係機関と調整しながら、検討してまいります。</p>

番号	意見（概要）	市の考え方
6	<p>P136</p> <p>2) のとおり、自家用車が圧倒的に主な移動手段である。</p> <p>これを変えるには東京並みの交通網の発達が必要なので、将来的にも変わらないと思う。</p> <p>そのため、車で移動しやすい道路を作ること考えてほしい。</p>	<p>道路における基本的な方針のなかで、尾張地域全体の産業振興や都市間の円滑な交通処理に資する道路ネットワークの形成に向け、広域幹線道路や幹線道路の整備を促進するとしております。</p> <p>また、幹線道路の未整備区間につきましては、道路ネットワークの形成、公共交通やまちづくりとの連携などを考慮し、計画的な整備を進める方針としております。</p> <p>関連部署と連携し、適切な整備に取り組んでまいります。</p>
7	<p>名神高速道路が通行止等になった場合に、多くの車が迂回して市内を通行する。</p> <p>（仮称）新濃尾大橋から計画中のスマートインターチェンジまで大型車もゆとりを持って走れる道路が繋がれば、市内の混雑は避けられるのではないかと。</p> <p>これにより産業と暮らしの中心が分けられ、安全と円滑な交通も確保できると考える。</p> <p>小中学生に限らず学生や高齢者等の危険が少ない道路計画で、暮らしも産業も両立した魅力ある都市計画をお願いしたい。</p>	<p>道路における基本的な方針のなかで、防災・減災を考慮した災害に強い道路ネットワークの形成及び道路空間の確保を図る方針としております。</p> <p>また、幹線道路の未整備区間につきましては、道路ネットワークの形成、公共交通やまちづくりとの連携などを考慮し、計画的な整備を進める方針としております。</p> <p>関連部署と連携し、適切な整備に取り組んでまいります。</p>
8	<p>電動アシスト3輪自転車が安全に通行・使用できる道路網を整備してほしい。</p>	<p>道路における基本的な方針のなかで、道路における自転車及び歩行者の安全で快適な通行空間の確保を図る方針としております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、関連部署と共有し、整備に向けての参考とさせていただきます。</p>
9	<p>千秋町は国道155号が通っているが、佐野地区の一部は、歩道が今もってない。交通量は昭和の合併時よりも大幅に増えている。大型のトラックが通る時などは怖くて歩くことができない。でも歩かざるを得ない。千秋町地内は、そんな道路ばかりである。歩道と車道を分離してほしい。</p>	<p>道路における基本的な方針のなかで、道路における自転車及び歩行者の安全で快適な通行空間の確保を図る方針としております。</p> <p>また、幹線道路の未整備区間につきましては、道路ネットワークの形成、公共交通やまちづくりとの連携などを考慮し、計画的な整備を進める方針としております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、関連部署と共有し、整備に向けての参考とさせていただきます。</p>

番号	意見（概要）	市の考え方
10	<p>一宮駅前の地下駐車場をはじめとする再整備について</p> <p>北朝鮮の度重なるミサイル発射やウクライナの地下空間への避難などを考えると、一宮駅周辺における唯一の地下空間であるため、再整備に際し、ぜひ核シェルターとしての機能を検討してほしい。</p>	<p>一宮駅周辺地区のまちづくりにおきましては、現在、ウォークアブル空間デザインプロジェクト（一宮駅周辺地区デザイン計画等策定業務）において、地下駐車場の利活用も含め、将来構想を検討しているところです。</p> <p>いただいたご意見・ご提案につきましては、関連部署にお伝えします。</p>
11	<p>景観のことが記載されている。耕作放棄地かどうか分からないが、雑草がすごく伸びていて、今でも雑草が枯れて立っている。子供が走って飛び出したら見えないのではと心配している。</p> <p>また、車で片側に寄ると雑草で傷がついてしまう。整備されてないところ（水路等）に落ちないかと心配もしている。不衛生でジャンボタニシもぎっしりである。どのように景観を良くしていこうとしているのか、具体的に知りたい。</p> <p>宅地にできないため、家も増えず子供の数も減る傾向である。活気がなくなっていくのではないかと思う。一宮市の農業においても目指す方向を知れたらと思う。</p>	<p>景観形成の基本的な方針として、一宮市景観基本計画などを踏まえ、市民・事業者・行政が協働して良好な景観の保全及び形成を図る方針としております。特に自然景観の形成においては、優良農地の保全により広がりが見出された景観、集落地の原風景が生きる景観など、身近な原風景のなかに美を見出す水と緑のネットワークによる景観づくりを推進していく方針としております。</p> <p>農業につきましては、上位計画である第7次一宮市総合計画の基本構想「Plan4 活力を生み出す」施策22「魅力があり持続的発展性のある農業を支援します」にて、事業展開の方向性を示しております。</p>
12	<p>カーボンニュートラルは撤回してほしい。</p> <p>私もCO2は減らすべきものだと思っていたが、研究事例をよくよく検証するとCO2と温暖化は関係ないということが立証されていることを知った。</p> <p>一度立ち止まって再検討してほしい。</p>	<p>いちのみやゼロカーボンシティの宣言は、2015年のパリ協定、2020年のわが国の2050年カーボンニュートラル宣言を踏まえたものであり、本計画は宣言に基づき脱炭素社会に向けたまちづくりが必要としております。</p>

番号	意見（概要）	市の考え方
1 3	<p>都市拠点、副都市拠点、レクリエーション拠点などのわけ方には反対である。</p> <p>今伊勢町は公園が少なく、生活拠点でありながら、奥町公園はやや遠いし、近くに公園を整備すべきだと思う。</p> <p>自動車で移動する前提で計画を立てるのではなく、徒歩や自転車で容易に移動できるかを考えたり、小規模公園を整備して火災など防災対策をすることも必要だと思う。</p> <p>大規模地震において、一宮市は液状化現象が予想されており、レクリエーション拠点という整備ではなく、公園兼防災拠点として小規模公園の整備をして徒歩で災害後に救援物資をとりに行ける計画を立てるべきだと思う。</p> <p>都市計画策定としては防災対策が不十分だと思う。</p>	<p>今後の人口減少により、日常生活サービスの維持・提供が困難になるおそれがあることから、拠点への都市機能の集積を図るとともに、公共交通ネットワークを活かした利便性を確保し、持続可能なまちづくりが必要と考えております。</p> <p>また、一宮市緑の基本計画におきまして、都市公園の現状やそれを取り巻く社会情勢を踏まえ、既存ストックの活用を念頭に、「量から質」への転換を図り、都市公園などの整備と管理に努める方針です。</p> <p>防災に関しましては、災害時の遮断地帯、避難地帯などとして公園などのオープンスペースの維持・確保を図る方針としているほか、輸送路を確保するため、幹線道路の整備推進と緊急輸送道路沿道の建築物の耐震化を促進する方針としております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、関連部署と共有し、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
1 4	<p>のこぎり屋根の工場を保全、活用したまちづくりが市の文化を伝える上で必要と記載しながら、そうした建物が多いう市西部のエリアの具体的な計画にのこぎり屋根の保全、活用に関する記述がなく、ただ記載しなければならないから計画の記述に入れたようにしか見えない。そうした工場の持ち主などは財力が多い人ばかりではないので、具体的な計画を示してほしい。</p>	<p>市街化区域の工業系土地利用方針として、伝統的地場産業の持続に配慮し、小規模な工業施設と住宅地の一定の混在を許容し、のこぎり屋根工場を景観資源の一つとして位置づけ、保全・活用を図る方針としております。</p> <p>また、地域別構想のまちづくりの方針として、地域の魅力向上に向け、工場のリノベーションを推進する方針としております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、関連部署と共有し、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>

番号	意見（概要）	市の考え方
15	<p>北方町の北部には、名鉄木曾川堤駅があり、学生や通勤の方が利用されている。しかし駅の東側は人家もない堤防端で、日が暮れば、暗くて防犯上も怖いので、女性は木曾川堤駅を利用しにくい。自転車置き場は、屋根もないので、雨具の脱ぎ着に困る状態である。夜や雨天の場合は車で駅まで迎えに行くが、駅前ロータリーもないので U ターンをするしかない。</p> <p>名鉄木曾川堤駅は自動改札機も導入され駅舎も新しくなっているが、周りの環境が悪くバスも通っていないので、もっと利用できるはずの駅が利用できていない状態である。</p> <p>このまま利用する人が少ないと駅自体が廃止されかねない。この駅を活かした公共交通を考えてほしい。</p>	<p>北方町のまちづくりの方針として、木曾川堤駅について、イベントと連携し、利用を促進する方針としております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、関連部署と共有し、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
16	<p>千秋町には、公園らしい公園がない。田舎で田園地帯だから、公園はいらないというものではない。市民の憩いの場所として確保することが求められている。</p> <p>また、他の町内には公衆トイレが設置されているが、千秋町には佐野地内の元出張所があった場所にあるだけである。誰もが使いやすいトイレが必要である。</p>	<p>千秋町地域につきましては、一宮総合運動場をレクリエーション拠点に位置づけ利用増進を図る方針としております。</p> <p>また、青木川などの水辺空間の有効活用を図る方針としております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、関連部署と共有し、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
17	<p>概要 P.3 ■将来都市構造 【拠点】産業拠点</p> <p>尾張一宮パーキングエリア周辺について、スマートインターチェンジの整備が沿線地域等への利便性向上に大きな役割があると思われる、良い取組だと思う。インターチェンジの整備、サービスエリア・パーキングエリアの整備を推進することで、地域活性化につながり、周辺の平面街路の混雑緩和、高速道路上の休憩場所の増加等の利便性も向上すると思うので、更なる整備推進を期待する。</p>	<p>関係機関と調整し、整備推進に向けたまちづくりに取り組んでまいります。</p>

番号	意見（概要）	市の考え方
18	<p>一宮市民会館・尾西市民会館は、駐車場確保のため、一宮市郊外にあり、他の地域から車を使わずに行くのは大変である。人の集まる会館などの施設が電車の駅の近くにあったら子どもたちも高齢者も誰もが行きやすいのではないか。</p>	<p>本計画では将来都市構造において、過度な自動車依存の抑制に向け、誰もが利用しやすい公共交通ネットワークの形成を図る方針としております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、関連部署と共有し、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
19	<p>概要 P.4 ■部門別の方針（1）土地利用の方針 追加・修正した記載：■その他の土地利用の方針</p> <p>地域活性化の拠点となる農産物等の直売所や道の駅等の立地を検討、と記載されているが、現時点で立地をしたいと考えている場所、認可等の進捗、想定スケジュールがあれば教えてほしい。</p>	<p>現時点において、具体的な計画はありません。今回、基本的な方針へ記載することにより、道の駅等の整備実現の可能性を、今後検討していくものです。</p>
20	<p>12/17の説明会に参加した。道路事業に関心があり、市民として安全や暮らしやすさを求めたい。</p> <p>名岐道路の公聴会にも参加したが、通す・作るのが前提になるが、接続する道路が整備されていないと意義が薄れるのではないかと。</p> <p>現状でも高速出口が滞る箇所がある。信号までの距離を確保しなければ、すぐに本線まで渋滞が伸び、有効性が下がるのではないかと。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、名岐道路の関係機関と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
21	<p>最近、春日井市から引っ越してきたが、一宮市の道路は車で走りにくい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅街の道は狭い ・碁盤の目状になっておらず入り組んでいる ・幹線道路も二車線道路で右車線がいきなり右折レーンになる ・駅のロータリーが使いにくい <p>これらを整備するだけで流通も随分効率化すると思う。</p>	<p>道路における基本的な方針のなかで、道路における自転車及び歩行者の安全で快適な通行空間の確保を図る方針としております。</p> <p>また、幹線道路の未整備区間につきましては、道路ネットワークの形成、公共交通やまちづくりとの連携などを考慮し、計画的な整備を進める方針としております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、関連部署と共有し、整備に向けての参考とさせていただきます。</p>

番号	意見（概要）	市の考え方
2 2	<p>歩きたくなるまちなかのため、カーボンニュートラルのため、相互通行の狭路から一方通行道路への変更を推進してほしい。</p> <p>例えば旧鎌倉街道は愛知県特有の危険運転と相まって実質自動車専用となっており、手を出せば衝突するスレスレを 40km/h 以上の速度で通過されることも日常的で大変危険である。</p> <p>子どもを育てるうえで生存困難なまちであると実感している。</p>	<p>道路における基本的な方針のなかで、道路における自転車及び歩行者の安全で快適な通行空間の確保を図る方針としております。</p> <p>また、幹線道路の未整備区間につきましては、道路ネットワークの形成、公共交通やまちづくりとの連携などを考慮し、計画的な整備を進める方針としております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、関連部署と共有し、整備に向けての参考とさせていただきます。</p>
2 3	<p>道路交通法改正原案にある、自動車が自転車の右側を通過する場合は、1.5メートルの間隔を保つか、徐行するとの規定に合った市道の規格で都市計画を作成し直す。</p> <p>また、災害復旧の優先順位をあらかじめ決めておき、市道等の災害復旧の優先順位を公表することにより、災害時の速やかな復旧を行える体制の確立とともに、市街化区域の再開発優先にて都市計画を見直す。市街化調整区域は、予算の制限もあるため、地域生活拠点半径 800メートルを市街化区域に編入して、それ以外は、開発を抑制して、都市計画税の集中投入を行うとともに、維持管理予算の削減を行うこと。</p>	<p>道路における基本的な方針として、自転車及び歩行者の安全で快適な通行空間の確保を掲げております。</p> <p>災害に関する事項におきましては、事前復興まちづくり計画の策定を検討することを方針としております。</p> <p>市街化調整区域内に位置する地域生活拠点につきましては、地域別構想にて、地区計画制度などの活用により、地域の交流・憩いの場として、都市機能の維持・充実を図る方針としております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
2 4	<p>今のiバスは高齢者を主に対象としており、通勤通学時間の便がない。通勤通学の方も乗れる運行時間の普通のバスにするべきではないか。</p> <p>北方町の人口は1万人余りで世帯数は約5000世帯となって人口が減っている。一人か二人の世帯が多く、若い方が少ない。もっと交通が便利な場所へ若い人は行ってしまおうと思う。若い方々の意見を聞いて公共交通を考えてほしい。一宮市はもっと交通にお金をかけるべきかと、そして住民の生活の質を上げる努力をしてほしい。</p>	<p>本計画では将来都市構造において、過度な自動車依存の抑制に向け、誰もが利用しやすい公共交通ネットワークの形成を図る方針としております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、関連部署と共有し、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>

番号	意見（概要）	市の考え方
25	<p>P60【基本的な方針】</p> <p>「民間活力の導入を促す」とあるが、盛り上げるのは民間に丸投げのように聞こえる。</p> <p>民間は行政のお膳立てがあって初めて活力を發揮できる。</p> <p>「民間が活力を發揮できるよう必要な施策を取る」のような積極的な表現にならないか。</p>	<p>一宮駅周辺地区のまちづくりにおきましては、土地の高度利用を促進するため平成30年10月に容積率を緩和しております。</p> <p>また現在、ウォークアブル空間デザインプロジェクト（一宮駅周辺地区デザイン計画等策定業務）において、駅周辺の一体的な空間形成が図れるよう、駅周辺エリアと駅前銀座通りにおけるデザイン計画の策定に向け、将来構想を検討しているところです。</p> <p>構想段階であるため、多面的な記載となっております。</p>
26	<p>周辺の市は、再開発の動きが盛んであるが、一宮市では再開発のサの字も聞かれず、このままでは市中心部の地盤沈下が避けられないように思う。総合計画では再開発の動きについては受け身的なスタンスの記述が見られたが、市中心部は細かく地主が分かれている印象があり、それを集約することを考えると、受け身的な姿勢ではいつまでも再開発の計画は始まらないように思う。一宮市の中心部は一宮総合駅に近接し、さらに名古屋駅から10分という地の利もあるため、それを活かすには、もっと市が主導的に再開発を促す必要があると思う。</p>	<p>市街地開発事業の方針として、一宮駅周辺における土地の高度利用を目指し、指定容積率の見直し等により、本市の中心にふさわしいにぎわいのある市街地の形成を図る方針としております。</p> <p>また、現在、ウォークアブル空間デザインプロジェクト（一宮駅周辺地区デザイン計画等策定業務）において、将来構想を検討しているところです。</p> <p>いただいたご意見につきましては、関連部署と共有し、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>

番号	意見（概要）	市の考え方
27	<p>私が考えるこれからの一宮市</p> <p>駅を出て飛び込んでくる景色は街の顔。インパクトのある高さのツリーをロータリーに植え季節毎にオーナメント（装飾品）を飾る。</p> <p>参加型都市、そして帰る場所のような住み心地の良い都市を目指してみんなでつくりあげる。</p> <p>本町商店街や駅まで続く道には竹灯りで照らす。仕事から家までの帰り道も温かみのある光と感じたからである。</p> <p>一宮駅周辺には、生鮮食品、雑貨、本、文具等全部が揃うショッピングスポットを建設されることを期待する。</p> <p>また、green-up 計画と称して緑を増やしていきたい。駅周辺はもちろん真清田神社までの道のりを映えスポットとなるよう、誘導する。</p> <p>大江川沿いには、緑あふれる walking-road を作る。地面は足腰に優しい素材を使い、ベンチも置く。</p> <p>また、公共交通機関のバスは、小型化して混み合う時間帯だけ便を増やして、出発時刻が近づいたらアプリなどに通知できるシステム作りを期待する。</p> <p>公園に関しては、駐車場がないことに困った時があった。さまざまな公園へ行ったが、路上駐車が多いと感じ、今後どうしていかかが課題である。</p>	<p>一宮駅周辺地区のまちづくりにおきましては、現在、ウォークアブル空間デザインプロジェクト（一宮駅周辺地区デザイン計画等策定業務）において、将来構想を検討しているところです。</p> <p>いただいたご意見、ご提案につきましては、関連部署と共有し、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
28	<p>概要 P.4 ■部門別の方針 （2）都市施設の方針</p> <p>一宮駅周辺において、まちなかウォークアブルに向けた社会実験等を実施されていたが、今後銀座通周辺をどのように整備・改良していくのが気になる。今後の利活用に期待しているため、適宜、検討状況がわかるようにすると良いと思う。</p>	<p>一宮駅周辺地区のまちづくりにおきましては、現在、ウォークアブル空間デザインプロジェクト（一宮駅周辺地区デザイン計画等策定業務）において、地下駐車場の利活用も含め、将来構想を検討しているところです。</p> <p>いただいたご意見、ご提案につきましては、関連部署にお伝えします。</p>

番号	意見（概要）	市の考え方
29	<p>中心市街地は、一宮駅から本町商店街を経て、真清田神社に掛けて魅力アップと歩行者・自転車通行が安全で快適に通行できる道路整備が必要だと思う。</p> <p>一宮駅から真清田神社までは、天候に関係なく回遊してもらえる様に、屋根付き歩道の整備をすれば良いと思う。</p> <p>iビル東側にある千歳通りは、駅前を南下したら、伝馬通りで突き当たり右左折が必要である。駅東側のロータリーの利用は、それぞれ線路に直交する八幡通りと伝馬通りから利用できる様な構造に変更し、東側のロータリーを南北に分離させ、南北個別でロータリーを整備する。その結果、信号がなく人流は分断されず、前述した屋根で雨に濡れず真清田神社までアクセス可能になるので、混雑も無くなり、iビルの駐車場出入口の混雑を軽減する。</p> <p>また、駅前の一等地、銀座通りの南北を市が買取るか、駅前広場と一体整備してはどうか。</p> <p>市内には小河川や水路が多く平坦で、交差点が少なく、ウォークアブルな歩道整備にはピッタリだと思う。整備した歩道は大江川等と繋がりネットワークが形成され、歩いて本町商店街や駅前までアクセスする楽しみになる。</p>	<p>一宮駅周辺地区のまちづくりにおきましては、現在、ウォークアブル空間デザインプロジェクト（一宮駅周辺地区デザイン計画等策定業務）において、将来構想を検討しているところです。</p> <p>いただいたご意見、ご提案につきましては、関連部署にお伝えします。</p>
30	<p>概要 P.5 ■地域別構想 （1）地域1【まちづくりの方針】土地利用・市街地整備の方針</p> <p>名岐道路の沿線地区において、ストック効果を活かした土地利用を検討、と記載されているが、具体的なイメージ等があれば教えてほしい。</p> <p>また、今回の目標年次が2030年であるが、まだ名岐道路は供用されていないと想定されるが、もっと先の土地利用を想定して、今回の計画にも反映しているという認識で良いか。</p>	<p>基本的な方針となりますので、個別具体的なプランが決まっているわけではありませんが、イメージとしては、名岐道路が整備されることで、利便性が高くなり、面的基盤整備などが考えられます。</p> <p>また、土地利用は、ご意見のとおり目標年次よりもっと先を想定して、今回の計画に反映しています。</p>

番号	意見（概要）	市の考え方
3 1	<p>丹陽町と千秋町にまたがって、スマートインターチェンジを活用した中継物流施設の検討がされる地域に指定されている。</p> <p>千秋町の佐野、天摩、町屋、浅野羽根地域には、スマートインターチェンジができることを前提に物流倉庫がたくさん作られている。水田がなくなり、水害が起りやすくなると心配する方がたくさんいる。トラック輸送が多くなれば、交通事故の危険性が増えると危惧する方も多い。</p> <p>スマートインターチェンジを活用するのだと言って、住民が水害の心配をしなくていいように、交通事故が多発しないように、住民の安心安全を守ることを行政が対策をとってほしい。</p>	<p>中継物流施設の立地検討におきましては、中継物流施設をスマートインターチェンジ周辺に誘導することにより、地域への交通影響の低減を図るものでもあります。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後のまちづくりの参考とさせていただきます、中継物流施設のほか周辺の土地利用なども勘案し、スマートインターチェンジ周辺が治水対策も含め、適切な運用、形態となるよう関係機関と調整しながら、検討してまいります。</p>
3 2	<p>概要 P.8 ■地域別構想 （7）地域7【まちづくりの方針】土地利用・市街地整備の方針</p> <p>スマートインターチェンジ周辺において、ストック効果を活用した中継物流施設の立地を検討、と記載されているが、物流の中継地としてスマートインターチェンジをどのように活用するのかが気になる。スマートインターチェンジが全長 12m 以上の大型車も通行可能となるような規模を検討されているのか教えてください。</p>	<p>スマートインターチェンジの運用、構造などについては、設置の検討をしている段階であるため、現時点では未定です。中継物流施設のほか周辺の土地利用なども勘案し、スマートインターチェンジが適切な運用、形態となるよう関係機関と調整しながら、検討してまいります。</p>
3 3	<p>街区や道路を再整備した上で、市条例・指導要綱や日影規制を受けない準工業や近隣商業を新たに定めれば開発は促進する。市が、主体となることによって発展に繋がり、投資を呼び込む様な都市計画策定を要望する。</p> <p>駅や公共施設の利用想定は、近隣市町の住民を取り込む施策を打った上で、就学、就業、観光、参拝を取り込む開発を目指した都市計画を願う。</p> <p>以上のことを実施し、街の新陳代謝が促されれば、空き家が減少する。都市計画を見直し、街並みの見直しが行われれば、利便性が増し、地価が上昇すれば新陳代謝が促される連鎖が続くと思う。まずは計画を立て、立てた計画を検証する都市計画を進めてほしい。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、関連部署と共有し、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>

番号	意見（概要）	市の考え方
34	<p>三八市を彷彿させる景観はもったいない。名鉄百貨店一宮店で一（はじめ）餅をされていたらしいが、真清田神社で継続実施させる等、市が橋渡しを行うべきことだと思う。</p> <p>また、旧国道の歩道と自転車道を整備すれば、魅力が上がり、真清田神社や本町商店街を散策すると思う。また自転車は、市内の舗装品質では歪やパンクの心配があり、車道以外のエリアが狭く、安全で快適な走行ができないので、舗装の是正は必須だと思う。</p> <p>更に歩いたり、サイクリングする人の動機として、橋のもと等に概要看板を設置し、コース概要やコース距離、消費カロリーを明記したらどうだろう。また、河川は昔の写真などを掲載しても良いと思う。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、関連部署と共有し、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
35	<p>都市計画のなかでも、放置を感じるのが道路への取組。砂の汚れの放置、結果雑草の生育が促進され、要望するまで放置される道路。側溝整備や埋設管の整備をした後の舗装の段差や、やり直されてもすぐ真横にひび割れがある舗装の放置、街の発展に関心がなさ過ぎると思う。</p> <p>放置の状態の代表的な例が突然整備されたグリーンの歩道明示。段差や舗装状態が悪い状態で施工されたので剥離、消失している部分をよく目にし、放置の姿勢がよく現れている。また、一宮駅以北の鉄道沿線は機能を十分発揮できない街並みが広がっていると思う。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、関連部署と共有し、適切な整備に取り組んでまいります。</p>
36	<p>p 32～</p> <p>洪水浸水想定がされているが、本来なら浸水想定エリアが極小になるように行政で治水工事を行うべきだと考える。</p> <p>国土交通省が予算不足でできない面もあるのかもしれないが、ハザードマップをすることで災害に遭うのは自己責任とするのは行政の怠慢だと思う。</p>	<p>治水対策につきましては、一宮市総合治水計画において目標を定めておりますが、ハード対策とソフト対策を組み合わせた総合治水対策に取り組み、行政、市民が市域全体で一丸となって水害に強いまちづくりを行っていく計画となっております。</p> <p>本計画におきましても、総合治水計画を関連計画と位置づけ、連携・整合した内容としております。</p>

番号	意見（概要）	市の考え方
37	<p>P41</p> <p>農地は積極的に活用されるよう新規就農者への補助金や作物の買取制度を充実させてほしい。</p> <p>昨今の社会情勢の不安定化により、地産地消、農業の重要性が高まっているように思う。</p> <p>農業が稼げるのだとなれば、若い人もどんどん始めるので、あとは行政側の対応次第である。</p> <p>農業を始めたくても家族を養うだけの収入にならないければ、あきらめざるを得ないのが現状である。</p>	<p>新規就農者への支援につきましては、国、県、市において助成を行っております。また、地産地消につきましては、一宮市6次産業化・地産地消推進計画を策定し、取り組んでいるところです。</p> <p>いただいたご意見、ご提案につきましては、関連部署にお伝えします。</p>